【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年7月9日(2020.7.9)

【公表番号】特表2019-521739(P2019-521739A)
【公表日】令和1年8月8日(2019.8.8)
【年通号数】公開・登録公報2019-032
【出願番号】特願2018-561648(P2018-561648)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　15/06　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　15/00　(2006.01)
Ａ２４Ｆ　47/00　(2020.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　15/06　Ａ
Ａ６１Ｍ　15/00　Ａ
Ａ２４Ｆ　47/00

【手続補正書】
【提出日】令和2年5月25日(2020.5.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
気化器本体で用いられるカートリッジであって、前記カートリッジは、
前記カートリッジに関する情報を備える識別子と、
前記識別子を格納するように構成され、前記カートリッジの使用中にコントローラからデータを受信するようにさらに構成されたカートリッジメモリと、
気化可能な材料と、
前記気化可能な材料を加熱するように構成された加熱器と、
前記カートリッジが前記気化器本体に結合されたとき、前記気化器本体上の１つ又は複数の気化器本体接点を係合するように構成された１つ又は複数のカートリッジ接点と、
を備える、
カートリッジ。
【請求項２】
前記気化器本体は、前記コントローラを備え、前記１つ又は複数のカートリッジ接点は、前記１つ又は複数の気化器本体接点に係合するとき、電源回路を形成するようにさらに構成され、前記加熱器が少なくともいくらかの前記気化可能な材料を加熱する温度を制御するために、前記気化器本体内の前記コントローラが前記電源回路を介して前記気化器本体内の電源からの電力潮流を調整する、
請求項１に記載のカートリッジ。
【請求項３】
前記１つ又は複数のカートリッジ接点は、前記１つ又は複数の気化器本体接点に係合するとき、データ交換回路を形成するようにさらに構成され、データが前記カートリッジメモリと前記コントローラとの間で前記データ交換回路を介して渡される、
請求項１又は２に記載のカートリッジ。
【請求項４】
前記コントローラから受信した前記データは、前記カートリッジの使用履歴データを備

える、
請求項１から３のいずれか一項に記載のカートリッジ。
【請求項５】
前記カートリッジは、前記気化器本体が前記１つ又は複数のカートリッジ接点にエネルギを与えていないとき、前記カートリッジメモリに電荷を加えるように構成された容量性回路をさらに備える、
請求項３又は４に記載のカートリッジ。
【請求項６】
前記カートリッジメモリは、ＥＥＰＲＯＭを備える、
請求項３から５のいずれか一項に記載のカートリッジ。
【請求項７】
前記カートリッジメモリは、変動振動数で生じる基準抵抗の変動を介して前記カートリッジに関する前記情報を出力するように格納し、且つ構成され、前記基準抵抗は、前記気化器本体内の電源と前記加熱器との間にあり、前記基準抵抗は、前記コントローラによって検出可能である、
請求項３から６のいずれか一項に記載のカートリッジ。
【請求項８】
前記電源回路は、前記カートリッジメモリに接続されたＨブリッジ回路を備え、前記Ｈブリッジ回路は、前記１つ又は複数のカートリッジ接点が前記１つ又は複数の気化器本体接点に係合されたとき、前記１つ又は複数のカートリッジ接点を通じた入力の向きを整えるように構成される、
請求項３から７のいずれか一項に記載のカートリッジ。
【請求項９】
前記情報は、カートリッジ特有の識別を備える、
請求項１から８のいずれか一項に記載のカートリッジ。
【請求項１０】
前記情報は、前記カートリッジ内の前記気化可能な材料の識別の一つ以上に関するパラメータ、前記カートリッジ内の加熱器の種類、前記カートリッジ内の前記気化可能な材料の濃度、前記カートリッジ内の前記気化可能な材料の量、前記カートリッジの使用履歴、及び、前記カートリッジを使用するために推奨される温度設定を備える、
請求項１から９のいずれか一項に記載のカートリッジ。
【請求項１１】
気化器本体及びカートリッジを備える気化器であって、
前記気化器本体は、電源、コントローラ及び、前記コントローラと通信する１つ又は複数の気化器本体接点を備え、
前記カートリッジは、カートリッジメモリ、加熱器、気化可能な材料、及び、前記カートリッジが前記気化器に結合されたとき前記気化器本体上の前記１つ又は複数の気化器本体接点に係合するように構成された１つ又は複数のカートリッジ接点を備え、
前記コントローラは、
前記加熱器を加熱するように前記１つ又は複数の接点に電力を与えること、
前記カートリッジメモリから情報を読み取ること、
を含む操作を実行するように構成されている、
気化器。
【請求項１２】
前記１つ又は複数のカートリッジ接点と前記１つ又は複数の気化器本体接点とは、係合するとき、電源回路を形成するように構成され、前記加熱器の温度を制御するために、前記気化器本体内の前記コントローラが前記電源回路を介して前記気化器本体内の前記電源からの電力潮流を調整する、
請求項１１に記載の気化器。
【請求項１３】

前記１つ又は複数のカートリッジ接点と前記１つ又は複数の気化器本体接点とは、係合するとき、データ交換回路を形成するように構成され、前記コントローラが前記データ交換回路を介して前記カートリッジメモリから前記情報を読み取る、
請求項１１又は１２に記載の気化器。
【請求項１４】
気化器を形成するためにカートリッジを気化器本体に結合し、前記カートリッジは、識別子、前記識別子を格納するように構成され、コントローラからデータを受信するようにさらに構成されたカートリッジメモリ、加熱器、気化可能な材料、及び、１つ又は複数のカートリッジ接点を備え、前記気化器本体は、電源、前記コントローラ、及び、前記コントローラと通信する１つ又は複数の気化器本体接点を備え、前記結合は、前記気化器本体上の前記１つ又は複数の気化器本体接点を前記カートリッジ上の前記１つ又は複数のカートリッジ接点に係合することを含み、
前記加熱器を加熱するように前記１つ又は複数のカートリッジ接点に係合する前記１つ又は複数の気化器本体接点に電力を与え、
前記識別子から前記コントローラに情報を読み取る、
方法。
【請求項１５】
前記１つ又は複数のカートリッジ接点と前記１つ又は複数の気化器本体接点との係合は、データ交換回路を形成することを含み、データが前記カートリッジメモリと前記コントローラとの間で前記データ交換回路を介して渡される、
請求項１４に記載の方法。
【請求項１６】
さらに、
一つ以上のプロセッサで実行するアプリケーションの動作を通じて、前記識別子内でコード化された情報にアクセスし、
前記一つ以上のプロセッサによって表示部上に生成されるユーザインターフェースを使用して、前記情報を表示し、
前記ユーザインターフェースとのユーザの対話処理によるユーザ入力を受信し、
前記気化器を、前記ユーザ入力によって前記一つ以上のプロセッサで決定された一つ以上のパラメータによって動作させる、
請求項１４又は１５に記載の方法。
【請求項１７】
前記使用履歴データは、前記カートリッジの使用回数を備える、
請求項４に記載のカートリッジ。
【請求項１８】
前記使用履歴データは、前記カートリッジの使用期間を備える、
請求項４又は１７に記載のカートリッジ。
【請求項１９】
前記使用履歴データは、前記カートリッジの使用の間に適用された少なくとも一つの温度設定を備える、
請求項４、１７又は１８に記載のカートリッジ。
【請求項２０】
前記カートリッジメモリは、読み取り可能及び書き込み可能であり、前記カートリッジメモリは、前記コントローラによって前記カートリッジメモリに書き込まれたデータを格納するように構成される、
請求項１１から１３のいずれか一項に記載の気化器。
【請求項２１】
前記コントローラによって前記カートリッジメモリに書き込まれたデータは、前記カートリッジのための使用履歴データを備える、
請求項１１から１３及び２０のいずれか一項に記載の気化器。

【請求項２２】
前記使用履歴データは、前記カートリッジの使用回数を備える、
請求項２１に記載の気化器。
【請求項２３】
前記使用履歴データは、前記カートリッジの使用期間を備える、
請求項２１又は２２に記載の気化器。
【請求項２４】
前記使用履歴データは、前記カートリッジの使用の間に適用された少なくとも一つの温度設定を備える、
請求項２１から２３のいずれか一項に記載の気化器。
【請求項２５】
さらに、前記コントローラによって前記カートリッジメモリに書き込まれたデータを格納し、前記データは、前記カートリッジのための使用履歴データを備える、
請求項１５に記載の方法。
【請求項２６】
前記使用履歴データは、前記カートリッジの使用回数を備える、
請求項２５に記載の方法。
【請求項２７】
前記使用履歴データは、前記カートリッジの使用期間を備える、
請求項２５又は２６に記載の方法。
【請求項２８】
前記使用履歴データは、前記カートリッジの使用の間に適用された少なくとも一つの温度設定を備える、
請求項２５から２７のいずれか一項に記載の方法。